

上杉謙信



[上杉謙信 下载链接1](#)

著者:吉川英治

出版者:講談社

出版时间:(1989/10)

装帧:平装

isbn:9784061965430

出版社／著者からの内容紹介

謙信を語るとき、好敵手・信玄を無視することはできない。精悍孤高の武将謙信と千軍万馬の手だれの武将信玄。川中島の決戦で戦国最強の甲軍と龍攘虎搏の激闘を演じ得る越軍も、いささかもこれに劣るものではない。その統率者・謙信と彼の行動半径は――？英雄の心事は英雄のみが知る。作者が得意とする小説体の武将列伝の1つであり、その清冽な響きは、千曲・犀川の川音にも似ている。

内容（「BOOK」データベースより）

謙信を語るとき、好敵手・信玄を無視することはできない。精悍孤高の武将謙信と千軍万馬の手だれの武将信玄。川中島の決戦で、戦国最強の甲軍と龍攘虎搏の激闘を演じ得る越軍も、いささかもこれに劣るものではない。その統率者・謙信と彼の行動半径は一?英雄の心事は英雄のみが知る。作者が得意とする小説体の武将列伝の一つであり、その清冽な響きは、千曲・犀川の川音にも似ている。

作者介绍:

吉川英治（よしかわえいじ、1892年（明治25年）8月11日 - 1962年（昭和37年）9月7日）は、日本の小説家。本名、英次（ひでつぐ）。神奈川県生れ。

様々な職についたのち作家活動に入り、『鳴門秘帖』などで人気作家となる。1935年より連載が始まった『宮本武蔵』は広範囲な読者を獲得し、大衆小説の代表的な作品となった。戦後は『新・平家物語』、『私本太平記』などの大作を執筆。幅広い読者層を獲得し、国民文学作家とされる。

目录:

[上杉謙信_下载链接1](#)

标签

吉川英治

上杉谦信

历史

日本战国小说

日本文学

人物

武士

日本战国

评论

无论为君为臣的言行都让人动容，核心的价值观其实都正是儒家的信义，但是日本人由于上千年对中国文化的无尚的崇拜，导致他们对此的坚守是真正的不留后路的笃信，或者他们本就是一条道走到天黑的本性。在诡计谋略上，中国的经典让日本人佩服得五体投地。和海音寺潮五郎完全不是一个写法，天与地不似成熟笔调，一味神化，仅可聊备一读，且台版的翻译只是意到，寡然无味。吉川英治更加单刀直入，疾风劲草，凌冽俊逸，更接近三国演义的写法，个人私情在历史大势中是放在一边的。比海音寺版的高处几档吧，读到妙处，如太史公笔法，令人击节赞叹。也难怪井上雄彦的宫本武藏能那么好看，原作功底太深。

写得太散乱，而且是从谦信31岁开始写，之前的生涯在穿插描写中一笔带过。虽然有可圈可点之处，但笔法太冷峻。由于谦信本来就是冷峻之人，如此处理反而不好。

第一次读的时候这措辞什么鬼 第二次读嗯好想有点明白..

[上杉谦信 下载链接1](#)

书评

[上杉谦信 下载链接1](#)